

2026年12月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料



2026年8月7日

株式会社ソディック

おかげさまで当社は本年8月に設立50周年を迎えました
新たな時代の中でさらなる成長へ私たちは進みます



Grow Forward
in the Next Era

01 2026年12月期第2四半期 業績

02 2026年12月期 見通し

03 企業価値向上に向けた取り組み

SECTION 01

2026年12月期第2四半期 業績

01

業績ハイライト

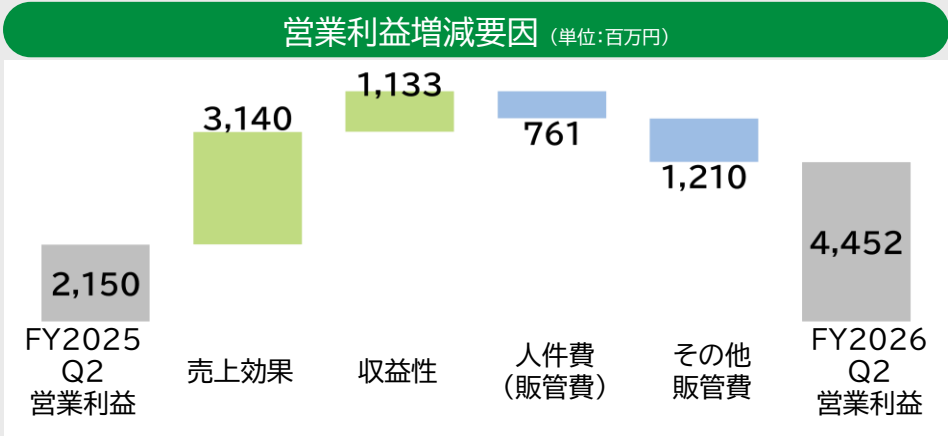
連結業績	売上高:	469億円	YoY	+23.5%	◆ 工作機械事業が好調を維持し、増収増益を牽引
	営業利益:	44億円	YoY	+23億円	
工作機械事業	売上高:	365億円	YoY	+30.3%	◆ 中華圏の旺盛な需要を背景に、放電加工機の販売が増加し大幅に増収増益
	セグメント利益:	54億円	YoY	+24億円	
産業機械事業	売上高:	52億円	YoY	+10.3%	◆ データセンター向け光コネクタの堅調な需要が継続し増収増益
	セグメント利益:	3億円	YoY	+1億円	
食品機械事業	売上高:	26億円	YoY	-1.3%	◆ 製麺設備の堅調な需要は継続も、無菌包装米飯製造装置の販売減少により減収減益
	セグメント利益:	2億円	YoY	-0億円	
その他事業	売上高:	24億円	YoY	-1.0%	◆ 金型成形事業は横ばいで推移した一方、LED事業の後ろ倒しにより減収減益
	セグメント利益:	0億円	YoY	-0億円	

※ セグメント利益の調整額 -16億円

決算概要(2026年12月期 第2四半期)

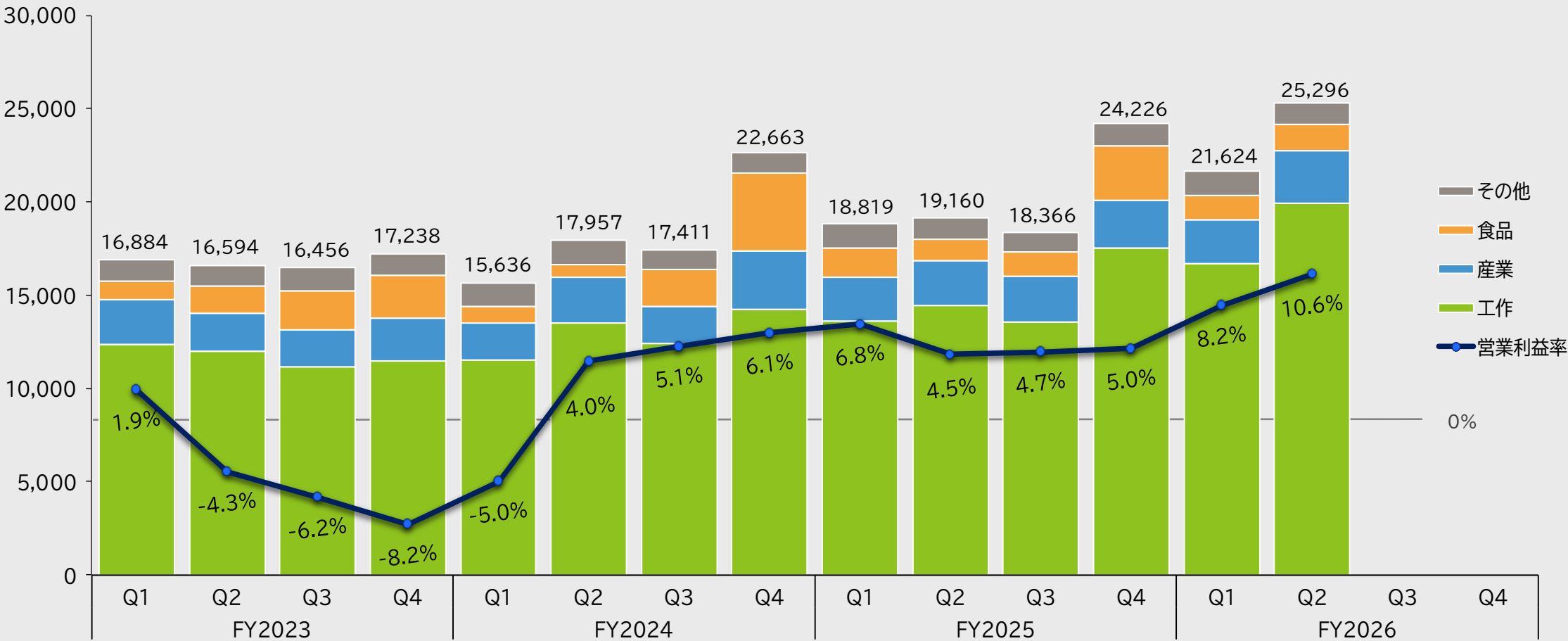
(単位:百万円)		FY2023 1-6	FY2024 1-6	FY2025 1-6	FY2026 1-6	YoY
売上高		33,479	33,594	37,980	46,921	+23.5%
売上総利益		10,242	10,626	13,342	17,615	+32.0%
売上総利益率		30.6%	31.6%	35.1%	37.5%	+2.4pt
販管費		10,632	10,683	11,191	13,163	+17.6%
営業利益		-390	-56	2,150	4,452	+107.0%
営業利益率		-1.2%	-0.2%	5.7%	9.5%	+3.8pt
経常利益		841	1,502	1,538	5,532	+259.7%
当期純利益		-103	800	1,088	3,981	+265.7%
設備投資額		2,923	1,439	1,303	1,774	+36.2%
減価償却費		1,815	1,786	1,668	1,682	+0.8%
R&D		1,706	1,518	1,738	1,553	-10.7%
USD/JPY	期中平均	135.00	152.36	148.40	158.29	9.89安
	期末日	144.99	161.07	144.81	162.39	17.58安

- ◆ **売上高**
中華圏における放電加工機販売の好調により増収
- ◆ **売上総利益**
生産台数増加による工場稼働率向上や生産効率改善により大幅増益
- ◆ **営業利益**
販売増加に伴う諸費用や人件費など販管費が増加したものの大幅に増益
- ◆ **経常利益・当期純利益**
営業利益の増加に加え、為替差益4億円(前年同期は為替差損7億円)などにより大幅増益



売上高・営業利益率推移(四半期毎)

(単位:百万円)



USD/JPY	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63	152.36	151.46	151.69	152.55	148.40	148.08	149.61	156.96	158.29		
売上高に対する為替影響額 (YoY)	+1,778百万円				+2,621百万円				-115百万円				+2,913百万円			

セグメント別業績

(単位:百万円)		FY2023 1-6	FY2024 1-6	FY2025 1-6	FY2026 1-6	YoY
連結	売上高	33,479	33,594	37,980	46,921	+23.5%
	セグメント利益 計	1,286	1,299	3,631	6,123	+68.6%
	調整額	-1,676	-1,356	-1,481	-1,671	-
	営業利益	-390	-56	2,150	4,452	+107.0%
	営業利益率	-1.2%	-0.2%	5.7%	9.5%	+3.8pt
工作機械事業	売上高	24,359	25,023	28,075	36,591	+30.3%
	セグメント利益	1,426	1,085	3,074	5,495	+78.7%
	セグメント利益率	5.9%	4.3%	11.0%	15.0%	+4.1pt
産業機械事業	売上高	4,418	4,432	4,730	5,217	+10.3%
	セグメント利益	5	295	141	321	+126.8%
	セグメント利益率	0.1%	6.7%	3.0%	6.2%	+3.2pt
食品機械事業	売上高	2,448	1,548	2,718	2,681	-1.3%
	セグメント利益	97	7	354	293	-17.3%
	セグメント利益率	4.0%	0.5%	13.0%	10.9%	-2.1pt
その他事業	売上高	2,253	2,590	2,456	2,430	-1.0%
	セグメント利益	-243	-89	60	13	-78.1%
	セグメント利益率	-10.8%	-3.4%	2.5%	0.5%	-1.9pt

セグメント別業績 工作機械事業

業績ポイント

売上高

◆ 金型生産の最大地域である中華圏において好調な需要が継続
加えて、その他地域での堅調な需要や、ワイヤ電極を中心とした消耗品売上の拡大により増収

セグメント利益

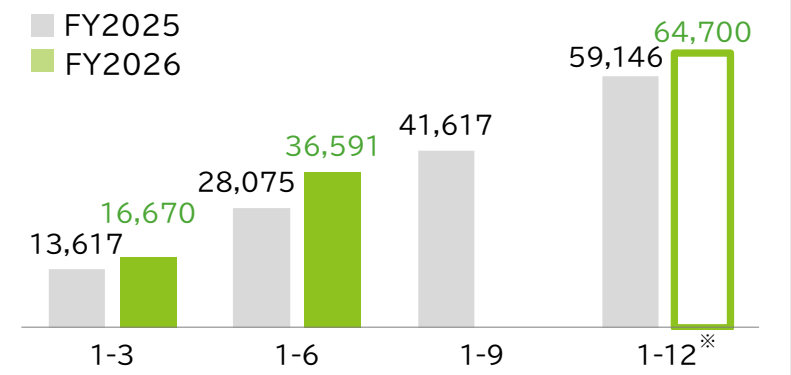
◆ 増収に伴う利益率改善に加え、生産台数増加による工場稼働率向上が継続し増益

主な製品

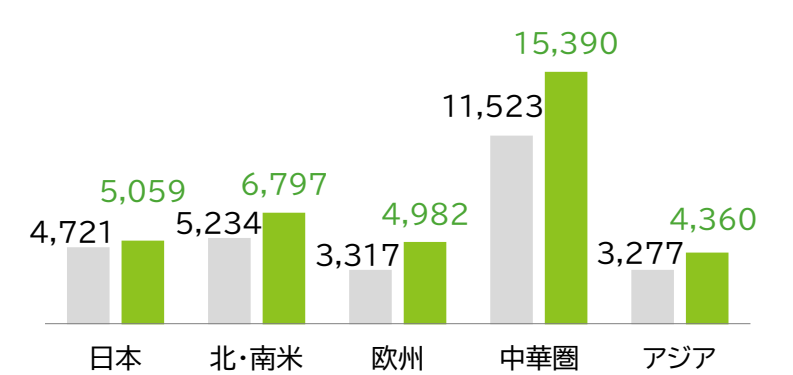
放電加工機 金属3Dプリンタ マシニングセンタ



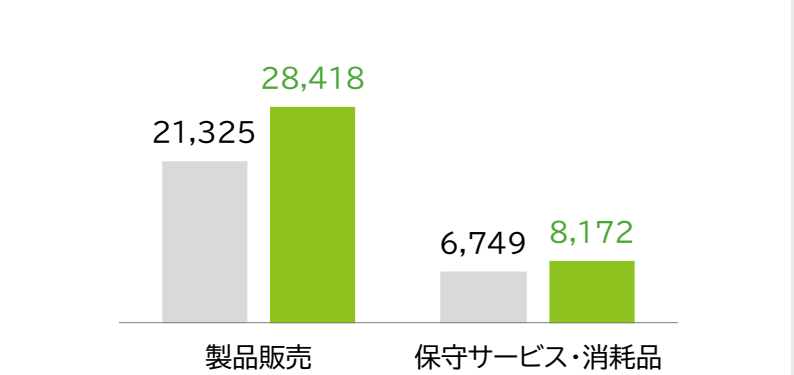
売上高 (単位:百万円)



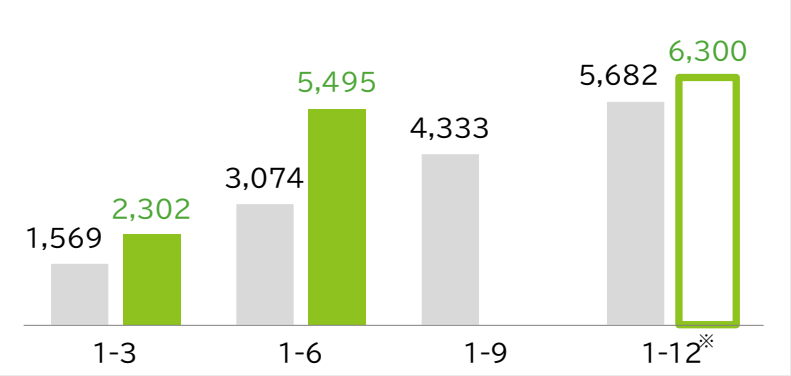
地域別売上高 (単位:百万円)



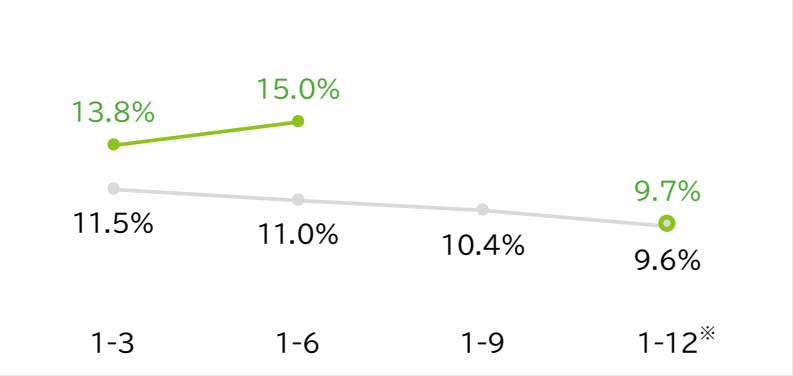
製品販売 / 保守サービス・消耗品 (単位:百万円)



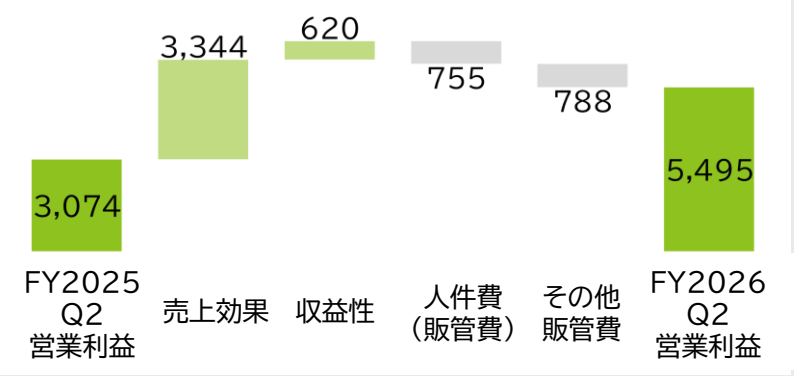
セグメント利益 (単位:百万円)



セグメント利益率



セグメント利益増減要因 (単位:百万円)



セグメント別業績 産業機械事業

業績ポイント

売上高

◆ 自動車関連の低調は継続したものの、日本・中華圏・米国を中心にデータセンター向け光コネクタの需要が堅調に推移し増収

セグメント利益

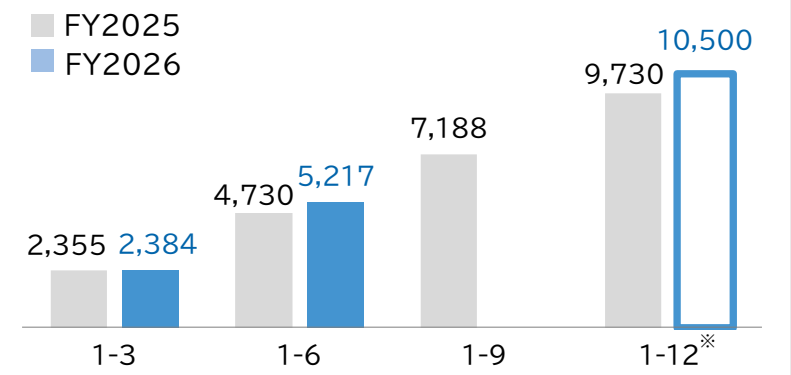
◆ 研究開発費の増加などにより利益の伸びは限定的となったものの、高付加価値モデルへのシフトの効果がみられ増益

主な製品

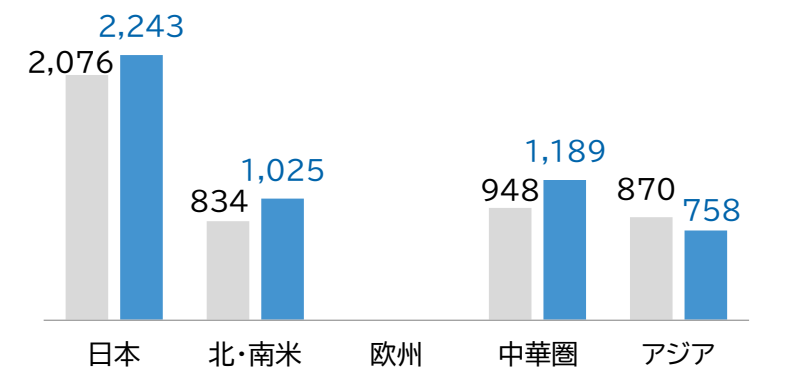
横型射出成形機 縦型射出成形機 軽金属射出成形機



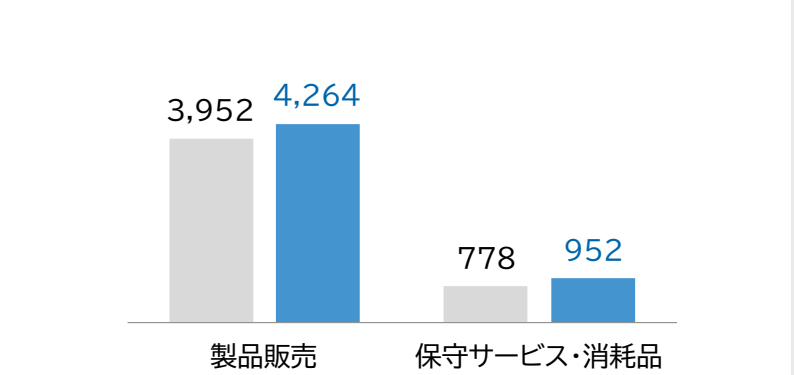
売上高 (単位:百万円)



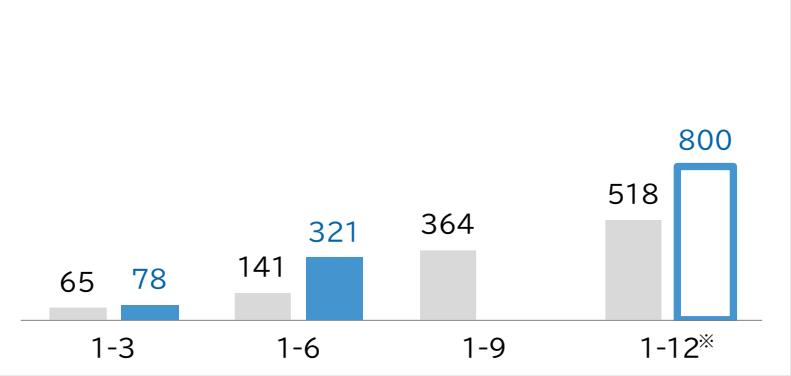
地域別売上高 (単位:百万円)



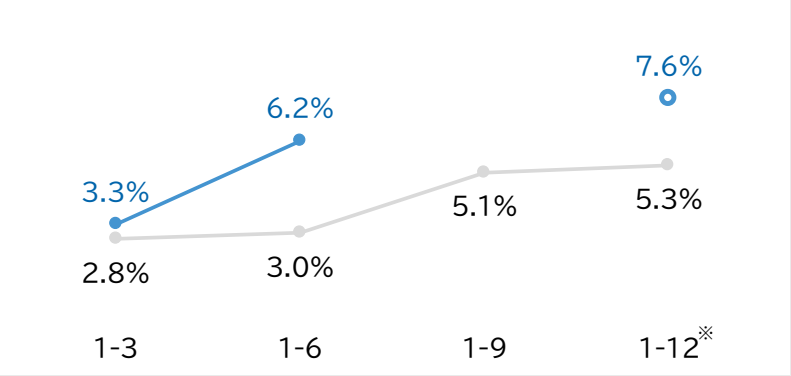
製品販売 / 保守サービス・消耗品 (単位:百万円)



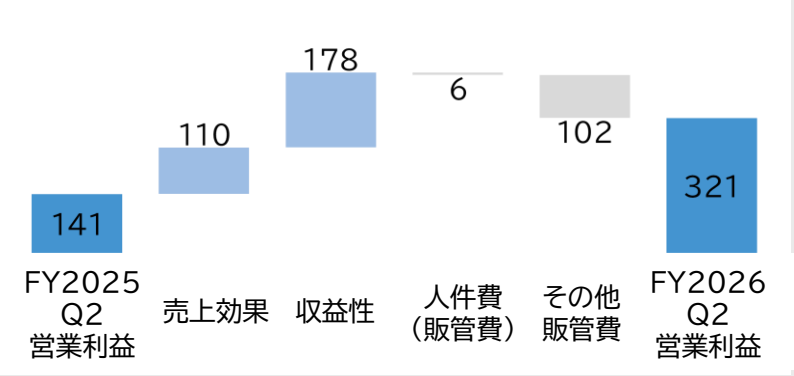
セグメント利益 (単位:百万円)



セグメント利益率



セグメント利益増減要因 (単位:百万円)



セグメント別業績 食品機械事業

業績ポイント

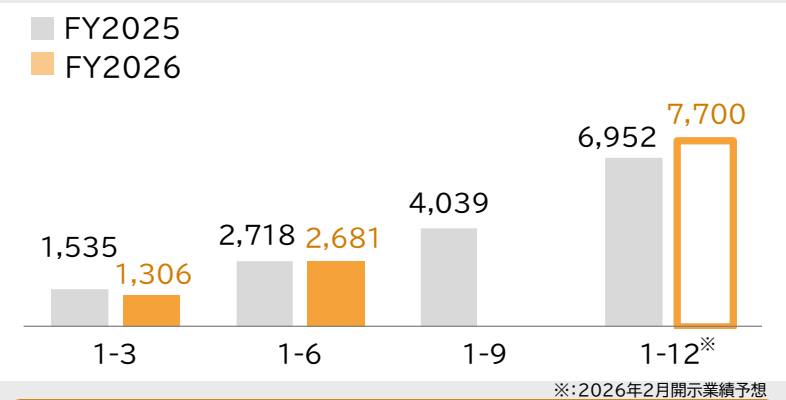
- 売上高
- セグメント利益

- ◆ 国内外で製麺設備の需要は堅調に推移したものの、無菌包装米飯製造装置の需要一服や競争環境の変化に伴う販売減少により減収
- ◆ 前期の高収益案件影響の反動等により収益性が低下したことに加え、販管費増加により減益

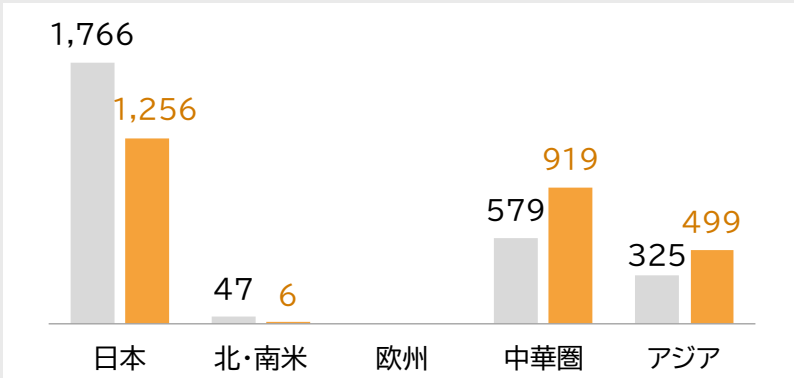
主な製品



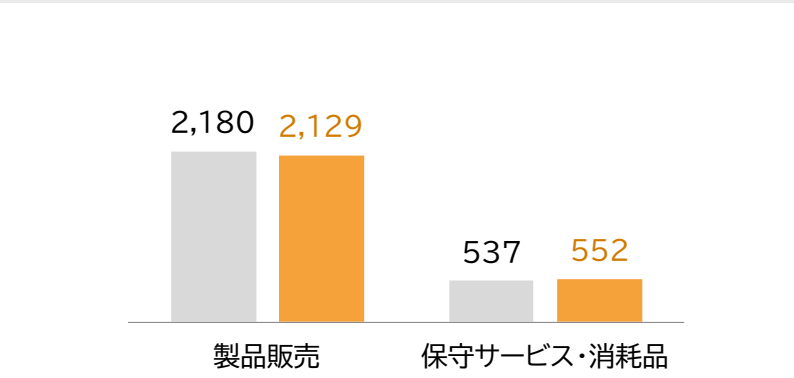
売上高 (単位:百万円)



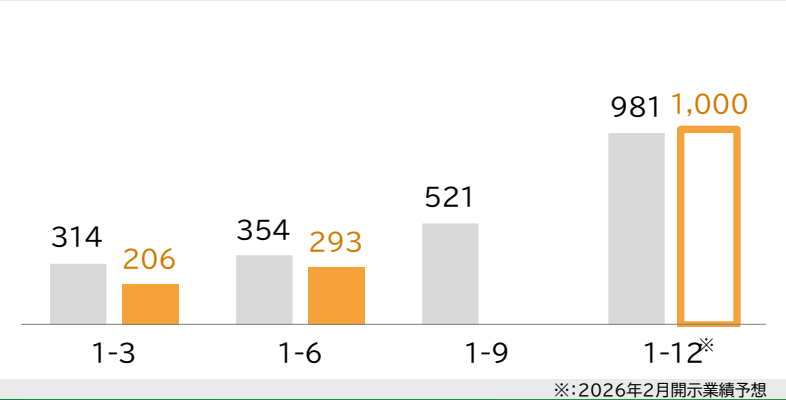
地域別売上高 (単位:百万円)



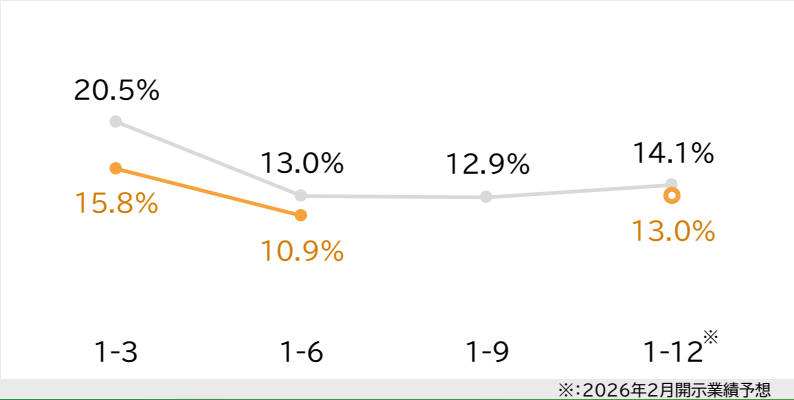
製品販売 / 保守サービス・消耗品 (単位:百万円)



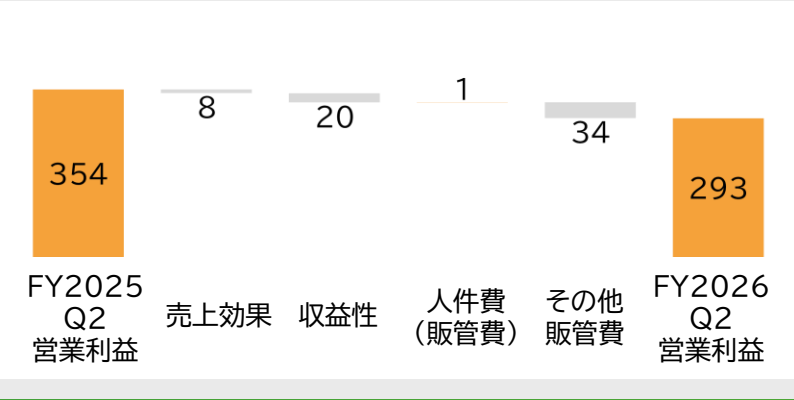
セグメント利益 (単位:百万円)



セグメント利益率



セグメント利益増減要因 (単位:百万円)



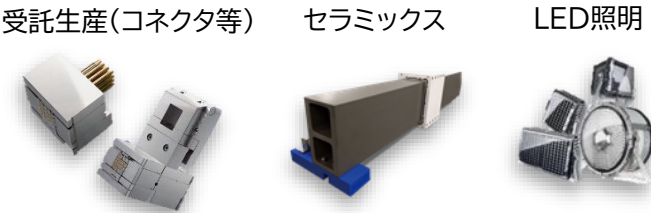
セグメント別業績 その他事業

業績ポイント

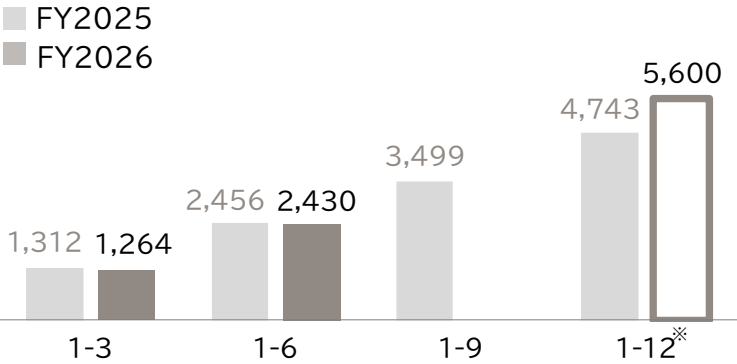
- 金型成形事業
- 要素技術事業

- ◆ 主要取引先である自動車業界において、地域差はあるものの総じて横ばいに推移
- ◆ セラミックス製品は堅調に推移した一方で、LED事業での一部後ろ倒しの影響で減収減益

主な製品

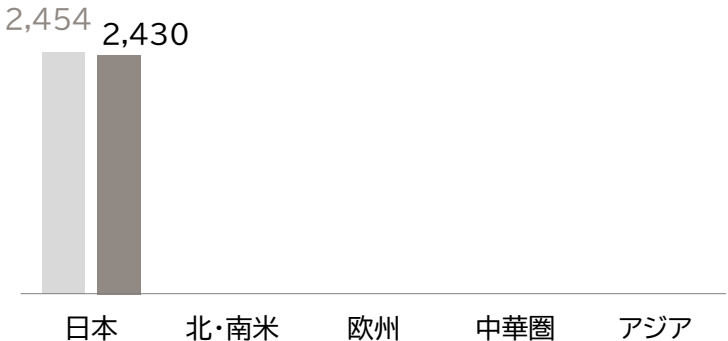


売上高 (単位:百万円)

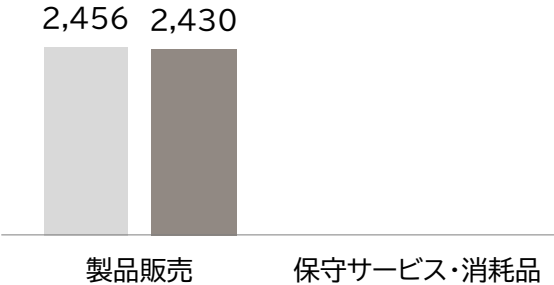


※:2026年2月開示業績予想

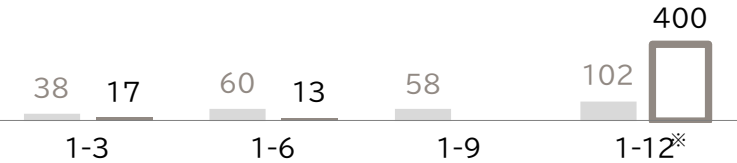
地域別売上高 (単位:百万円)



製品販売 / 保守サービス・消耗品 (単位:百万円)

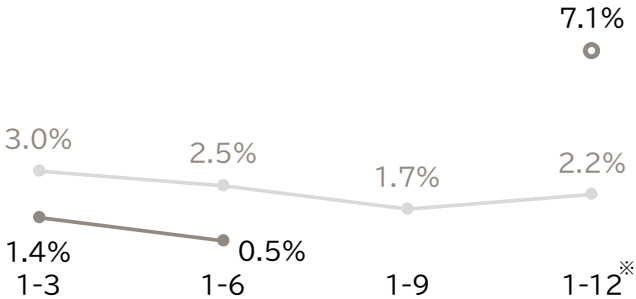


セグメント利益 (単位:百万円)



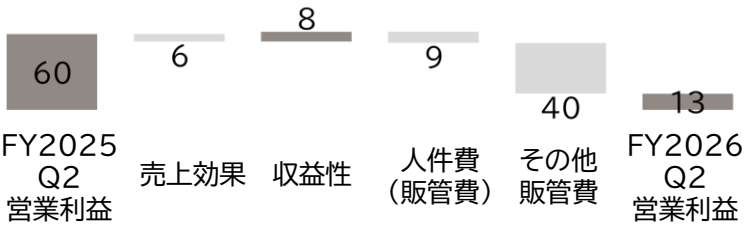
※:2026年2月開示業績予想

セグメント利益率

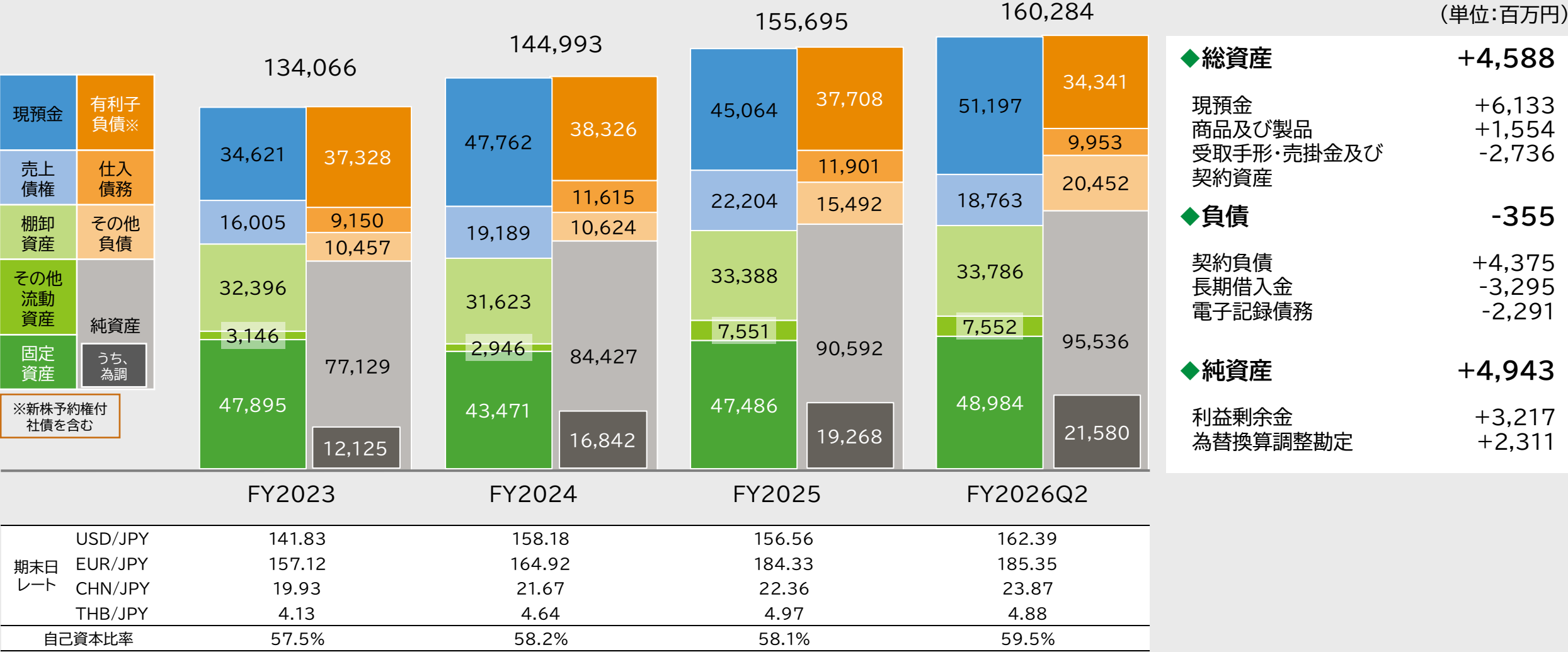


※:2026年2月開示業績予想

セグメント利益増減要因 (単位:百万円)



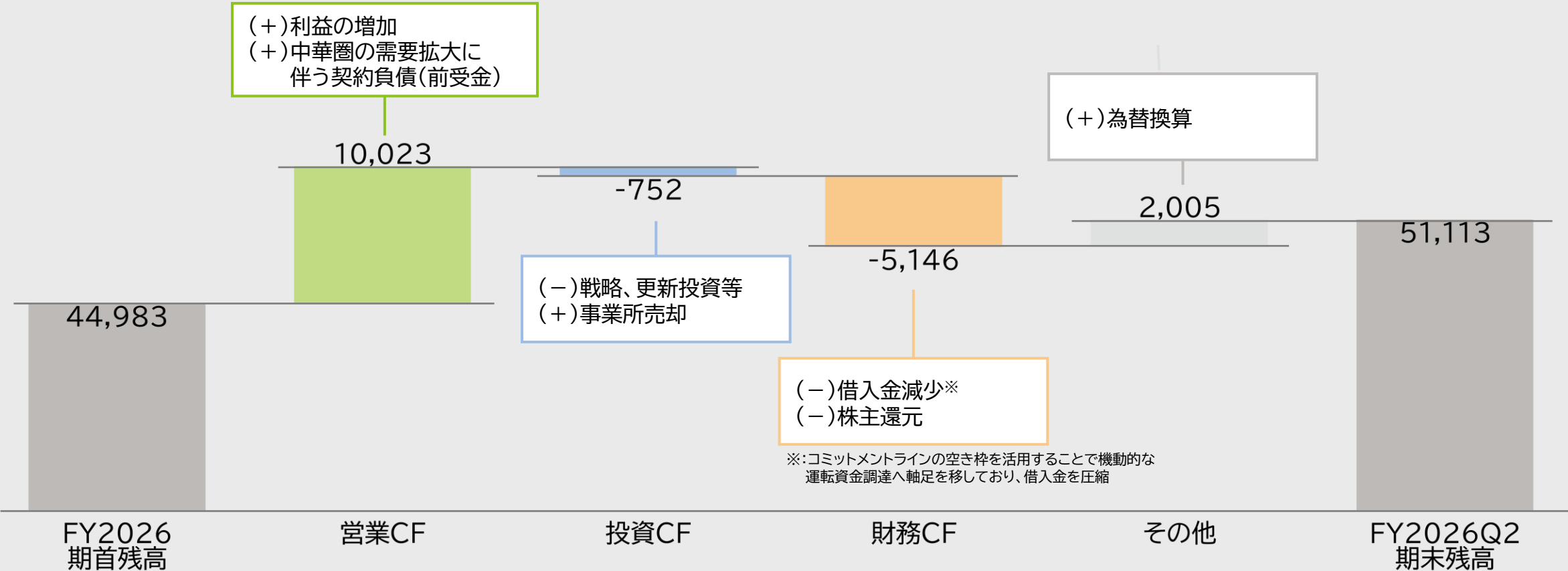
貸借対照表



キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026Q2
営業CF	-14	9,969	7,147	10,023
投資CF	-2,492	-1,632	-3,955	-752
財務CF	1,421	-1,041	-2,484	-5,146
現金・現金同等物期末残高	33,305	42,569	44,983	51,113

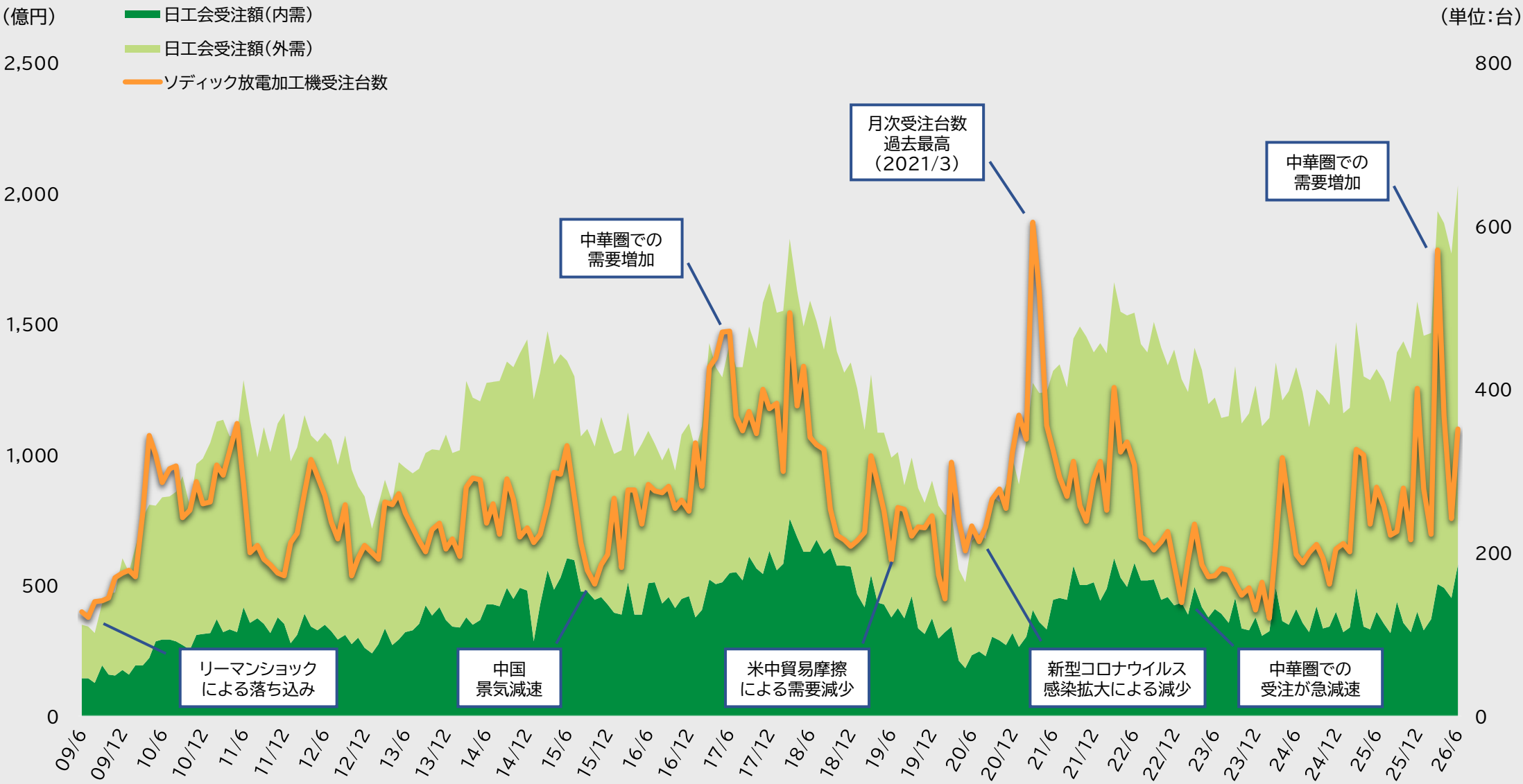


SECTION 02

2026年12月期 見通し

02

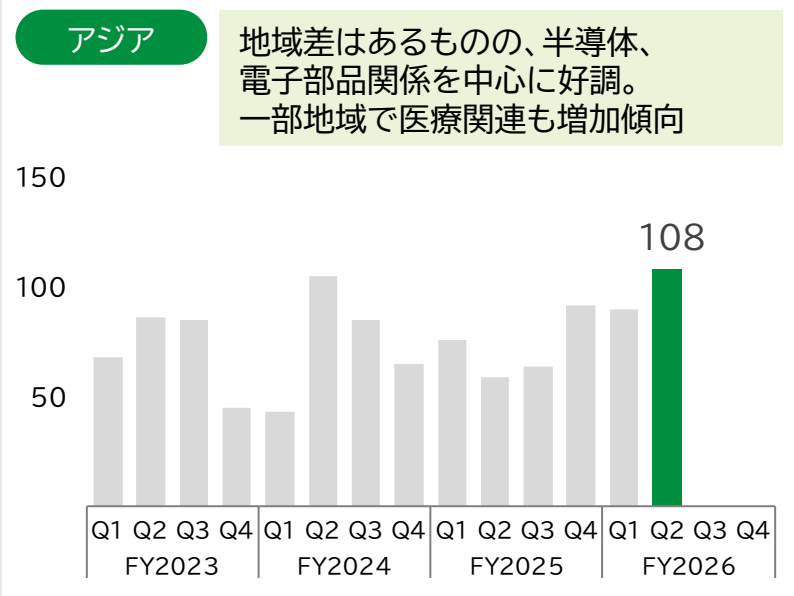
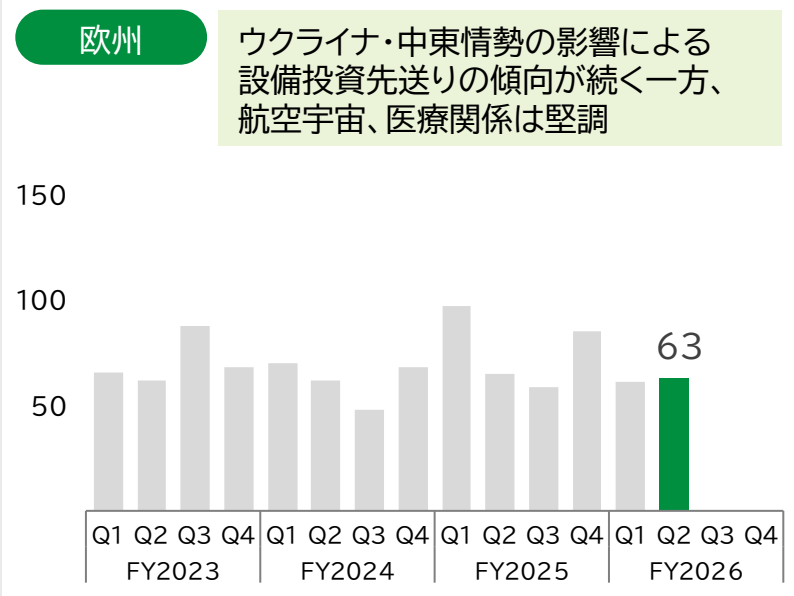
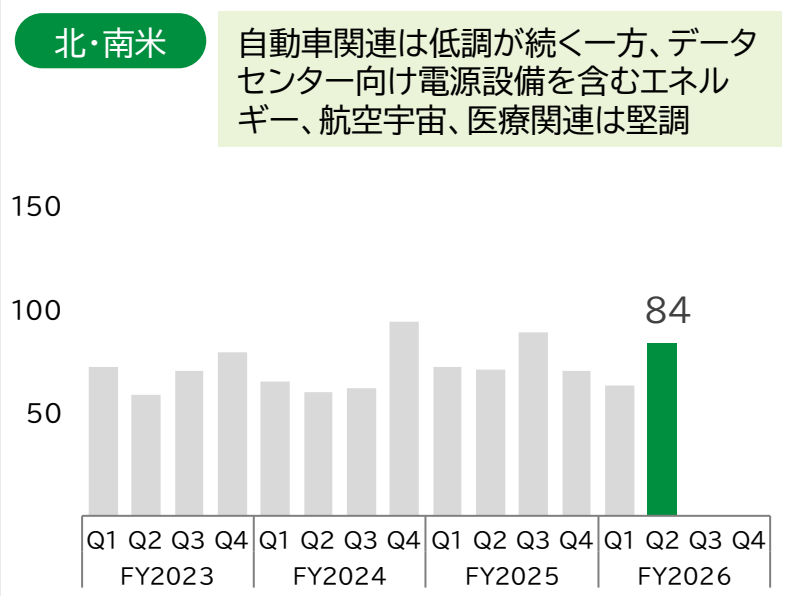
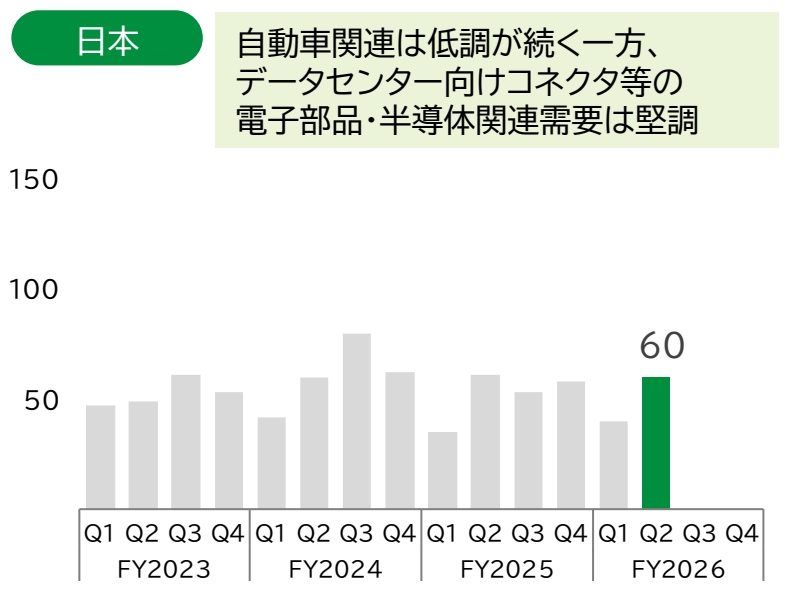
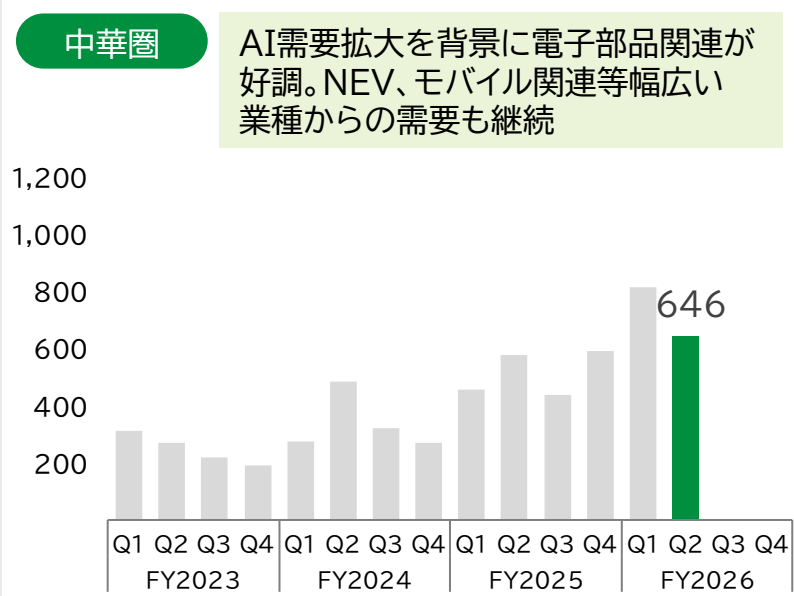
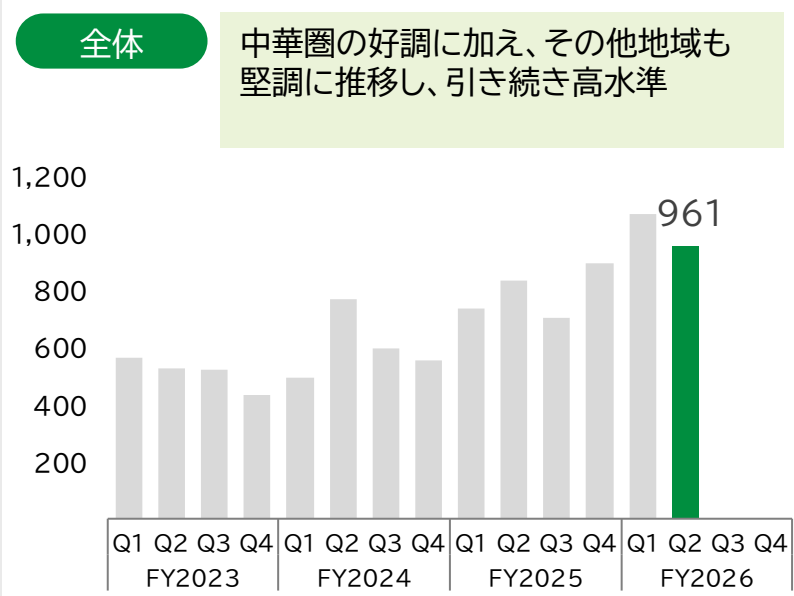
日本工作機械工業会受注額 / 当社放電加工機受注台数 推移



※受注台数・販売台数については、管理精度向上を目的として集計方法を見直しております。
これに伴い、2023～2025年の過去実績についても同一基準で再集計し、記載しております。

出典:日本工作機械工業会

放電加工機受注台数 四半期推移(地域別)



2026年12月期 通期業績予想

(単位:百万円)	FY2023 1-12	FY2024 1-12	FY2025 1-12	FY2026		
				期初計画 (2/13)	修正計画 (8/7)	期初計画比
売上高	67,174	73,668	80,572	88,500	97,000	+9.6%
営業利益	-2,819	2,231	4,224	5,500	9,200	+67.3%
営業利益率	-4.2%	3.0%	5.2%	6.2%	9.5%	+3.3pt
経常利益	-1,257	3,627	5,231	6,000	9,900	+65.0%
当期純利益	-4,604	4,115	4,514	5,100	7,400	+45.1%
期中平均	140.67	151.69	149.61	155.00	156.00	1.00安
USD/JPY						
期末日	141.83	158.18	156.56	155.00	156.00	1.00安

- ◆ **売上高**
中華圏を中心とした放電加工機販売が想定を大幅に上回って推移しており、販売台数見込みを引き上げたことから、通期業績予想を上方修正
- ◆ **営業利益**
増収効果に加え、生産台数増加による工場操業度の向上も見込むことから、通期業績予想を大幅に上方修正
- ◆ **経常利益・当期純利益**
営業利益の増加に加え、円安を反映した為替前提の見直しにより、通期業績予想を大幅に上方修正

2026年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:百万円)		FY2023 1-12	FY2024 1-12	FY2025 1-12	FY2026		
					期初計画 (2/13)	修正計画 (8/7)	期初計画比
連結	売上高	67,174	73,668	80,572	88,500	97,000	+9.6%
	セグメント利益 計	402	4,892	7,285	8,500	12,600	+48.2%
	調整額	-3,221	-2,660	-3,060	-3,000	-3,400	-
	営業利益	-2,819	2,231	4,224	5,500	9,200	+67.3%
	営業利益率	-4.2%	3.0%	5.2%	6.2%	9.5%	+3.3pt
工作機械事業	売上高	47,013	51,665	59,146	64,700	72,400	+11.9%
	セグメント利益	755	3,461	5,682	6,300	10,900	+73.0%
	セグメント利益率	1.6%	6.7%	9.6%	9.7%	15.1%	+5.3pt
産業機械事業	売上高	8,630	9,560	9,730	10,500	11,500	+9.5%
	セグメント利益	-478	823	518	800	800	+0.0%
	セグメント利益率	-5.5%	8.6%	5.3%	7.6%	7.0%	-0.7pt
食品機械事業	売上高	6,902	7,695	6,952	7,700	7,900	+2.6%
	セグメント利益	876	969	981	1,000	800	-20.0%
	セグメント利益率	12.7%	12.6%	14.1%	13.0%	10.1%	-2.9pt
その他事業	売上高	4,628	4,747	4,743	5,600	5,200	-7.1%
	セグメント利益	-750	-363	102	400	100	-75.0%
	セグメント利益率	-16.2%	-7.6%	2.2%	7.1%	1.9%	-5.2pt

◆ **連結**
工作機械事業が大幅に期初想定を上回り、売上高・利益ともに上方修正

◆ **工作機械事業**
中華圏を中心とした放電加工機販売が期初想定を大幅に上回り、売上高・利益ともに上方修正

◆ **産業機械事業**
データセンター向けコネクタ需要等を背景に売上高を上方修正する一方、利益は据え置き

◆ **食品機械事業**
製麺関連設備の販売増加により売上高を上方修正する一方、利益は下方修正

SECTION 03

企業価値向上に向けた取り組み

03

【再掲】中期経営計画の位置づけ



	FY2018	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 予想	FY2029 目標
売上高(億円)	827	671	736	805	970	1,000
営業利益(億円)	98	-28	22	42	92	100
営業利益率(%)	12.0	-4.2	3.0	5.2	9.5	10.0
放電加工機販売台数(台)	4,031	2,259	2,412	2,720	-	-
USD/JPY	110	140	151	149	156	155

【再掲】中期経営計画の基本方針と主なねらい

基本方針

主なねらい

1

事業戦略

- ・ 超高精度・微細加工による成長市場の課題解決
- ・ 省人化・自動化など生産性向上ソリューション強化
- ・ 製品の選択と集中
- ・ グローバル競争力の強化

顧客の課題解決を起点とした競争優位の確立
持続的成長の実現

2

経営基盤の強化

- ・ 生産性、収益性の改善
- ・ グローバル体制の再構築
- ・ イノベーションの創出・外部知見の活用
- ・ 次の50年を見据えた人材戦略
- ・ DX戦略
- ・ サステナビリティ推進

次の50年に向け再点火
経営基盤の再デザイン

3

財務戦略

- ・ 資本コストと株価を意識した経営
- ・ 成長投資の確実な実行
- ・ 資本のリサイクルと最適配分
- ・ 株主還元強化
- ・ 資本市場との対話強化

資本効率の向上と
成長に向けた資本の
再点火による
企業価値の最大化

中期経営計画の各種指標

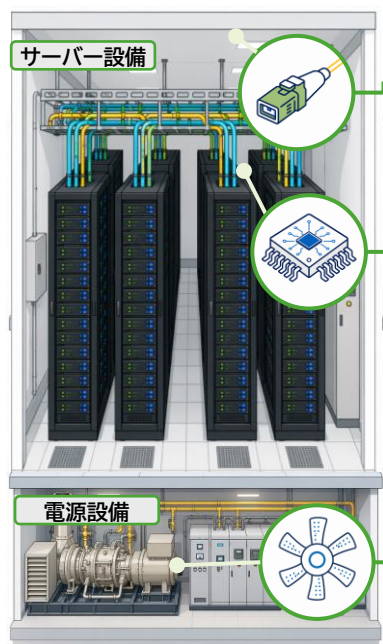
	FY2025 実績	FY2026 予想(8月開示)	FY2029 目標	FY2025 ➡FY2029
売上高	805億円	970億円	1,000億円	+5.5%/年
最重要指標 営業利益	42億円	92億円	100億円	+24.0%/年
営業利益率	5.2%	9.5%	10.0%	+4.8pt
早期達成をめざす指標 PBR (株価純資産倍率)	0.5倍	—	1.0倍	+0.5
ROE (自己資本利益率)	5.2%	8.0%	8.0%	+2.8pt
EPS (1株当たり当期純利益)	89円	148円	130円	+41円
USD/JPY	149.61円	156.00円	155.00円	

AI・データセンター市場(工作機械・産業機械)

市場ニーズ

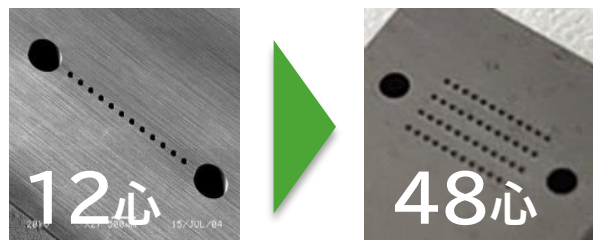
- AIと生成AIの爆発的普及
- データセンターのインフラ需要が増加
- データ通信量の爆発的な増加への対応

データセンターの構造



光コネクタ

- サーバー設備のコネクタ加工
- 光コネクタは多心化に伴い、より高精密な金型、成形が求められる



半導体・半導体製造装置

- 半導体を構成する微細部品 (ICパッケージ、微細ピンや端子 等)
- 半導体製造装置向け精密部品



発電設備向け部品加工

- ガス火力発電設備向けタービンの部品加工



発電用タービン

競争優位性

- 業界最高水準の超精密・高精度
- ハイエンド市場での圧倒的評価
- ナノレベルのピッチ精度
- 難加工材対応



事業機会の拡大

- データセンターはサーバーのみならず、周辺機器やインフラまで多岐にわたる要素で構成
- 広範な領域で当社製品を展開

惣菜・菓子・パン市場(食品機械)

市場ニーズ

- 共働き世帯・単身世帯の増加により惣菜・中食市場が拡大
- 冷凍・レトルト・即食ニーズの拡大に伴い食品製造の高度化が進展
- 多品種少量生産への移行により柔軟な生産設備への需要が増加

競争優位性

- 麺・米飯で蓄積したノウハウを新市場へ展開
- 真空冷却技術による差別化

事業機会の拡大

- コンビニ・外食・食品メーカー向け需要の拡大
- 国内に加え海外市場へ展開



工作機械事業

事業テーマ

高精度加工を核に、工程・運用・環境を
統合したソリューションモデルへ転換

事業基本方針

高精度・高再現性
技術の深化

- 作業者に依存しない高精度・高再現性技術の強化
- 高精度領域への展開

工程全体を
最適化する
ソリューション提供

- 加工プロセスソリューション化
- 用途・業界別ソリューション展開

アフタービジネス
の強化

- サポートセンター設立による遠隔サポートと顧客満足・生産性向上
- 持続可能性とサービス高度化の推進

主な取り組み

- 成長分野である光通信デバイスや半導体向け製品を強化
- 微細化・高精度化ニーズに対応する次世代製品開発を推進



AI・データセンター向け光コネクタの加工を実現する超高精度放電加工機

- 自動化ニーズへの対応拡大
- 加工・搬送・測定を統合した自動化ソリューションを拡大



電極から放電加工までを自動化して工程全体を最適化するソリューション

- 細穴放電加工機用パイプ電極の増産対応
- 定期点検パックの推進
- 主要サプライ品の販促推進



産業機械事業

事業テーマ

高精度ニッチへの集中とソリューション
拡大により、高収益体質へ転換

	FY2025 実績	FY2026 予想(8月開示)	FY2029 目標
売上高	97億円	115億円	130億円
セグメント利益	5億円	8億円	13億円
セグメント利益率	5%	7%	10%

事業基本方針

高精度領域での
競争優位確立

- MTフェルール分野での優位性強化
- 小型高精度機による高付加価値
需要の取り込み

ニッチトップ分野
への集中

- ICT・車載・医療・軽金属・リサイクル
に経営資源を集中
- 高付加価値領域への展開を加速

ソリューション・
サービスの拡大

- 顧客サポート強化
- ターンキーによる付加価値提供

主な取り組み

- 光コネクタ向けを中心とした
高精度成形需要の取り込み
- 需要増加に対応した生産能力の強化



- 軽金属成形機をはじめとした
高付加価値製品の市場開拓
- 高付加価値案件への経営資源集中



- サポートセンター設立に向けた体制整備
- 成形支援・保守サービスによる
顧客サポート強化



食品機械事業

事業テーマ

新市場開拓とグローバル展開により、
成長基盤を確立

	FY2025 実績	FY2026 予想(8月開示)	FY2029 目標
売上高	69億円	79億円	100億円
セグメント利益	9億円	8億円	13億円
セグメント利益率	14%	10%	13%

事業基本方針

既存市場の
競争力強化

- 製品リニューアルによる競争力強化
- 原価低減による収益性向上

新市場・高付加
価値領域への展開

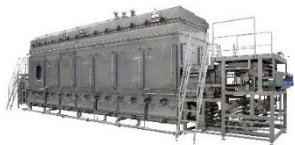
- 菓子・パン・惣菜分野への展開
- 協業による提案力強化

グローバル展開と
事業基盤の強化

- 海外市場の開拓・拡販
- 販売体制の再構築

主な取り組み

- 中食・外食市場における
設備需要の取り込み
- 原価低減による収益性向上の推進



無菌包装米飯製造装置

- 真空冷却装置の用途拡大
による新規顧客開拓
- 協業による提案力強化と
案件獲得の推進



連続式真空冷却装置



介護食の冷却装置

- 海外展示会を活用した販路拡大
- 海外案件獲得に向けた
営業活動の強化



加賀工場ショールーム新設

その他事業

事業テーマ

新市場開拓とグローバル展開により、
成長基盤を確立

	FY2025 実績	FY2026 予想(8月開示)	FY2029 目標
売上高	47億円	52億円	60億円
セグメント利益	1億円	1億円	5億円
セグメント利益率	2%	2%	8%

事業基本方針

高付加価値製品の
創出

- 金属3Dプリンタを活用した部材の
開発・展開

ソリューション
ビジネスの強化

- 自動化設備・システム販売の拡大
- 課題解決型ビジネスへの転換

新たな収益源と
事業領域拡張

- 新たな収益源の創出
- 外販強化と顧客基盤拡大

主な取り組み

- 半導体・エネルギー市場向け
製品開発の推進
- 金属3Dプリンタを活用した
高付加価値部品の展開



- EXC100L増産対応に向けた
生産体制の強化
- 自動化設備・システム提案の拡大

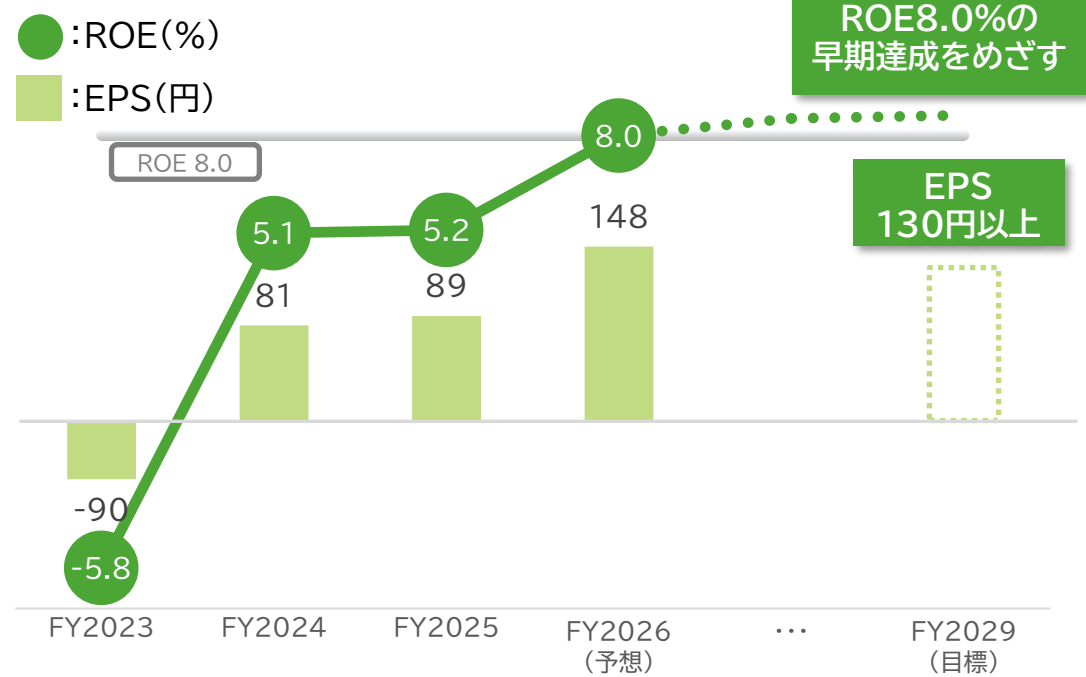


- 芝育成LED装置・投光器の拡販推進
- 外販強化による顧客基盤拡大



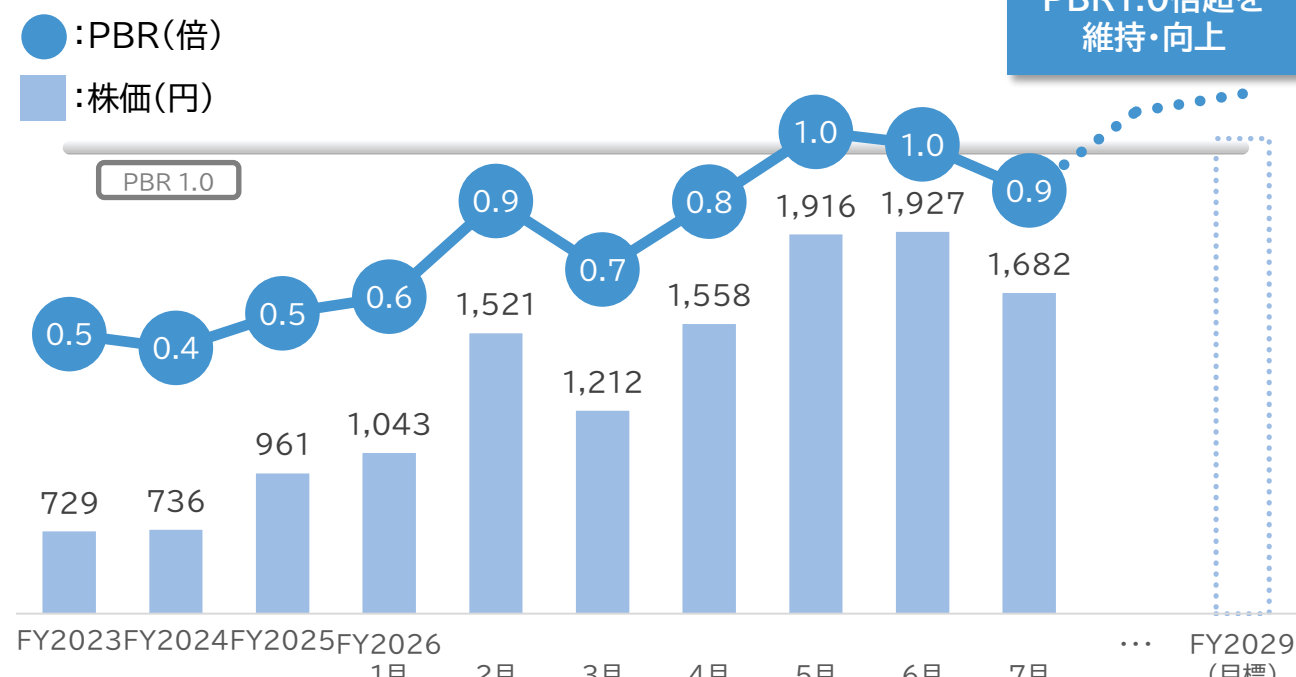
資本コストや株価を意識した経営の推進

ROEとEPSの推移



ROE: 通期の純利益(損失) / 自己資本(期首期末の平均)

PBRと株価の推移



PBR: FY2025以前 年度末の株価 / 年度末の1株当たりの自己資本
FY2026 月末の株価 / 前四半期末の1株当たりの自己資本



「グローバル」×「ソリューション提供」×「高付加価値化」によるビジネスモデルの転換

AP社と取り組み中の重点施策とその進捗

販売力強化

- 重点地域や重点産業向けの販売強化
- 営業人員一人ひとりの営業力強化
- DX、データ活用

ソリューション強化

- ソリューション売上拡大
- 顧客LTV・高付加価値化

管理体制の強化

- 部門連携の仕組み強化
- 在庫回転期間の短縮
- 各経営指標のダッシュボード化

M&A推進

- M&Aによる事業成長
- 新規事業創造・高付加価値化

AP社から得られるノウハウ・ネットワークの内製化

経営管理機能

データ分析力
ポートフォリオ経営ノウハウ
人的資本への投資

事業創造・企画力

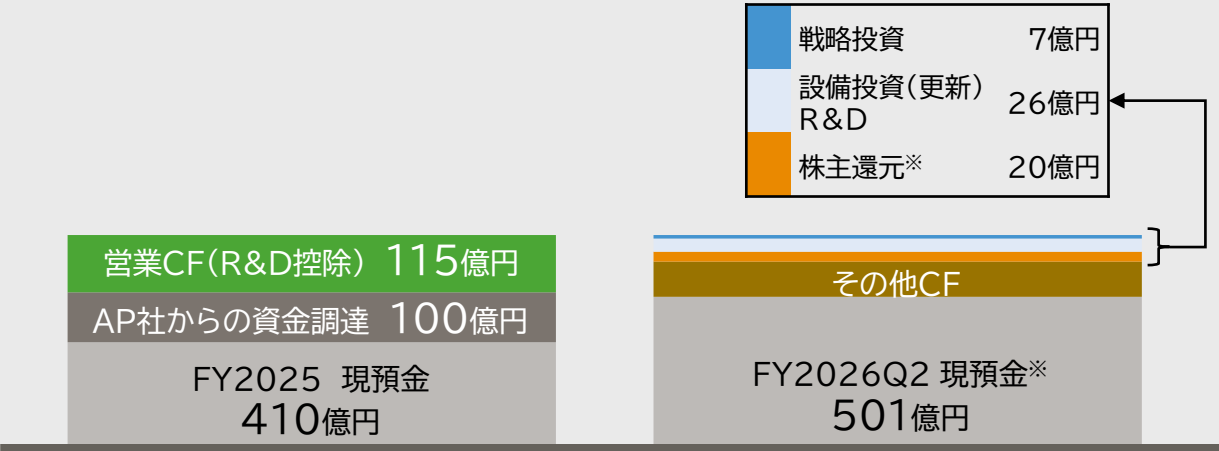
新規事業のビジネスモデル構築
各施策の企画力

外部ネットワーク

アジア拠点を含む豊富な事業
ネットワークやM&Aでの外部連携

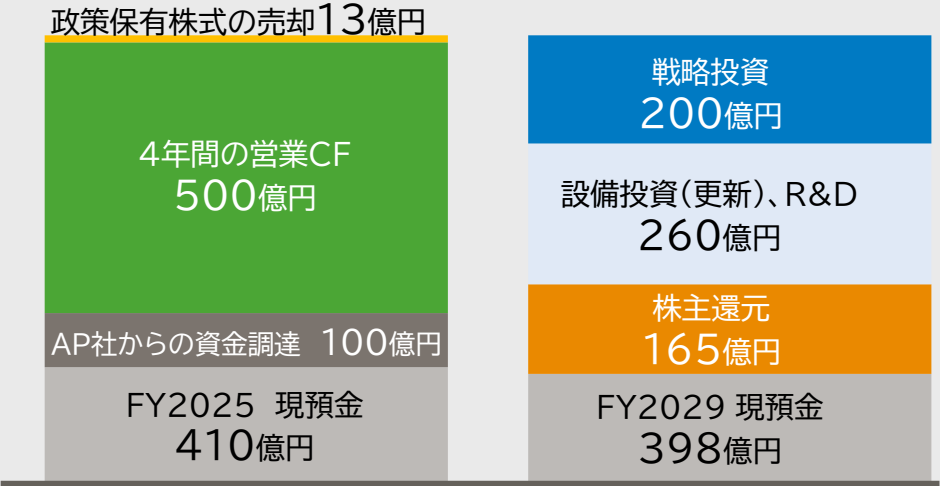
キャピタルアロケーション

FY2026Q2 実績



※: 2026年中間配当金額を反映

FY2026-2029 4年間見込



進捗

戦略投資	グローバル化	30億円
	M&A	100億円
	その他	70億円
設備投資(更新)R&D		260億円

今期中の取り組み

蘇州テクセンター整備、AltForm S.r.l.(伊)工場移転 Sodick, Inc(米) カルフォルニアテクセンター設置、 インドにプネテクセンター設置
・複数案件にて検討中
・DX投資、加賀工場の設備増強
【実績】 ・研究開発: 新型機の開発 ・設備投資: 更新に対して順次実施

【再掲】株主還元

~FY2025

DOE2%以上

総還元性向40%以上

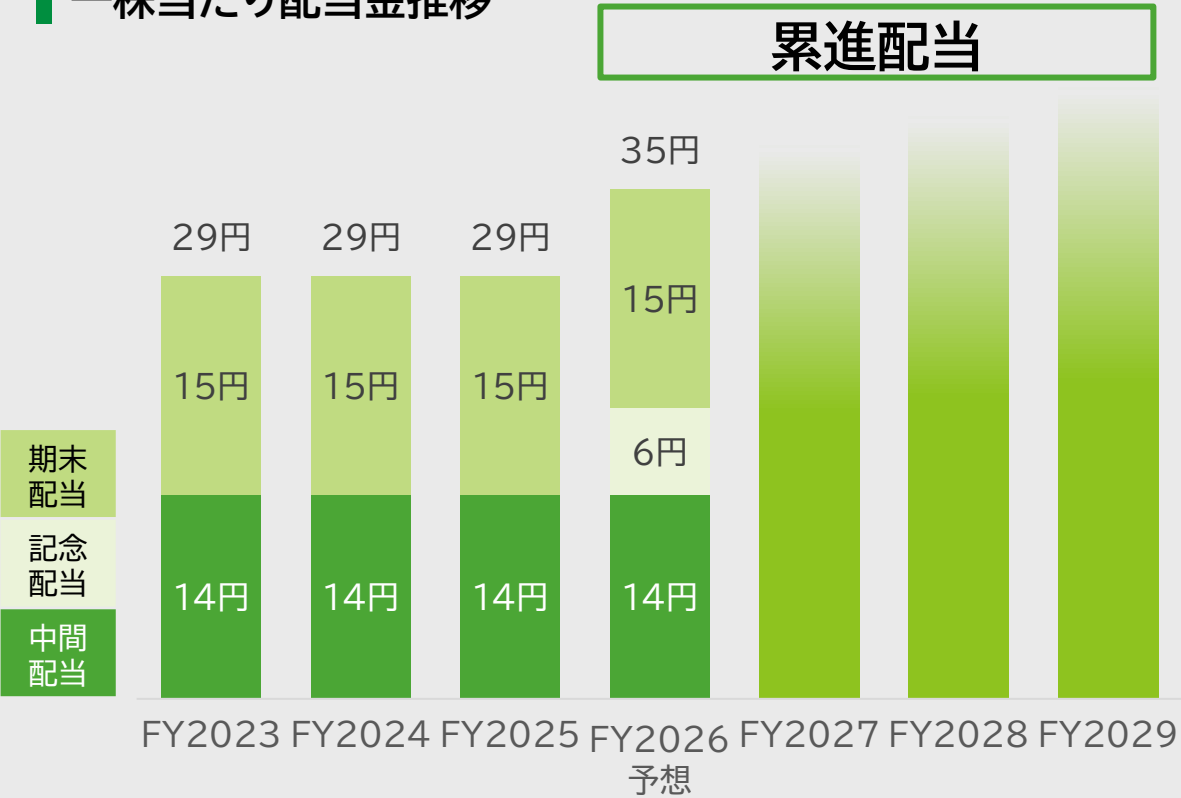


FY2026~

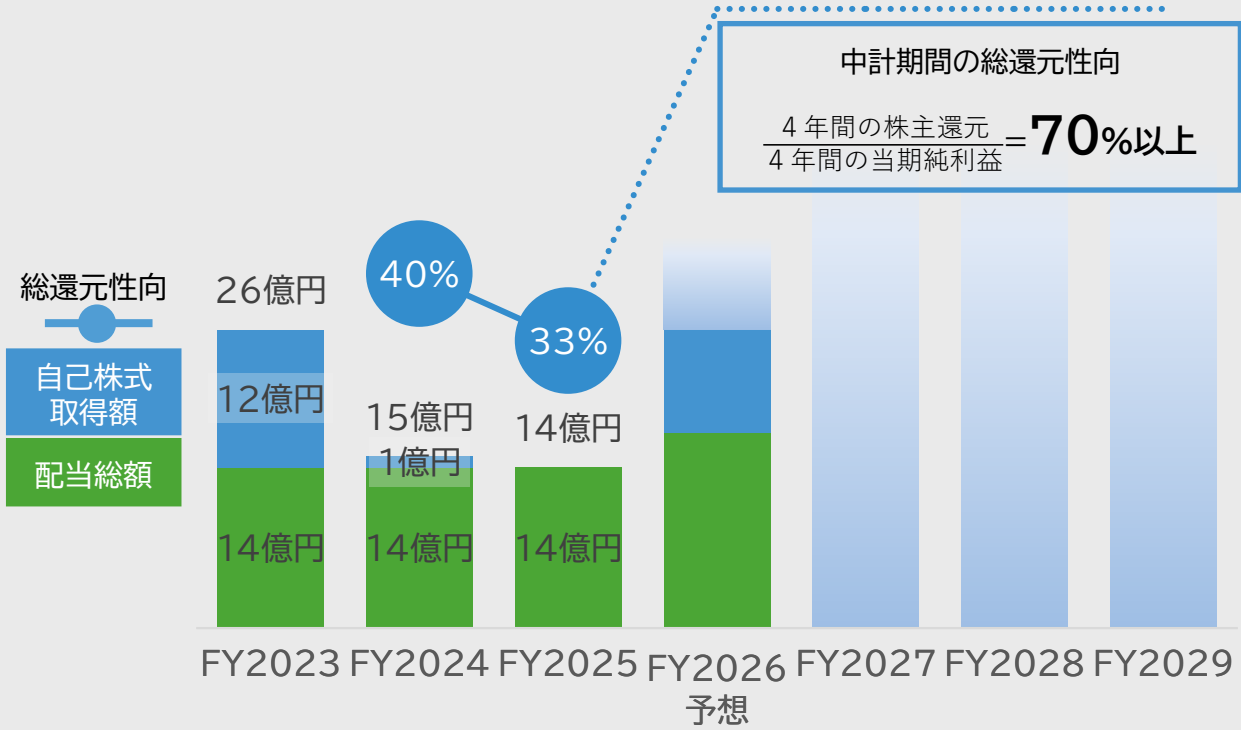
累進配当（記念配当は基準配当に組み込み）

中計期間の総還元性向:70%以上(FY2026~FY2029)
基本方針:每期40%以上

一株当たり配当金推移



株主還元推移



【再掲】サステナビリティ

マテリアリティ	KPI	目標値	実績値
進化するものづくりへの貢献 モノづくりの高度化による経済発展の基礎づくりへの貢献 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	● 工作機械の販売台数に占める環境配慮型製品の対応機種比率	● 2026年 75%	● 2025年 68.5%
環境マネジメントへの対応 カーボンニュートラルに向けて再生可能 エネルギーの利用やCO2削減を推進 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 13 気候変動に 具体的な対策を 12 つくる責任 つかう責任	● 温室効果ガス排出量の削減 ● エネルギー消費原単位指数の改善	● 2030年 46%減 ● 2050年 CN達成	● 2025年 23%減
人材の多様性の促進 多様な社員が働きがい、働きやすさを感じて活躍する企業風土のさらなる促進 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう	● 女性管理職比率の増加 ● 男性育休取得率の増加	● 2026年 5% ● 2027年 100%	● 2025年 5% ● 2025年 68.2%
ガバナンスの強化 会社が成長する一方で経営を後押しする攻めと守りのガバナンスの強化 16 平和と公正を すべての人に	● 数値目標は設定せず、取締役会実効性評価、内部統制、リスクマネジメント、コンプライアンス等の観点からの課題解決を図る		

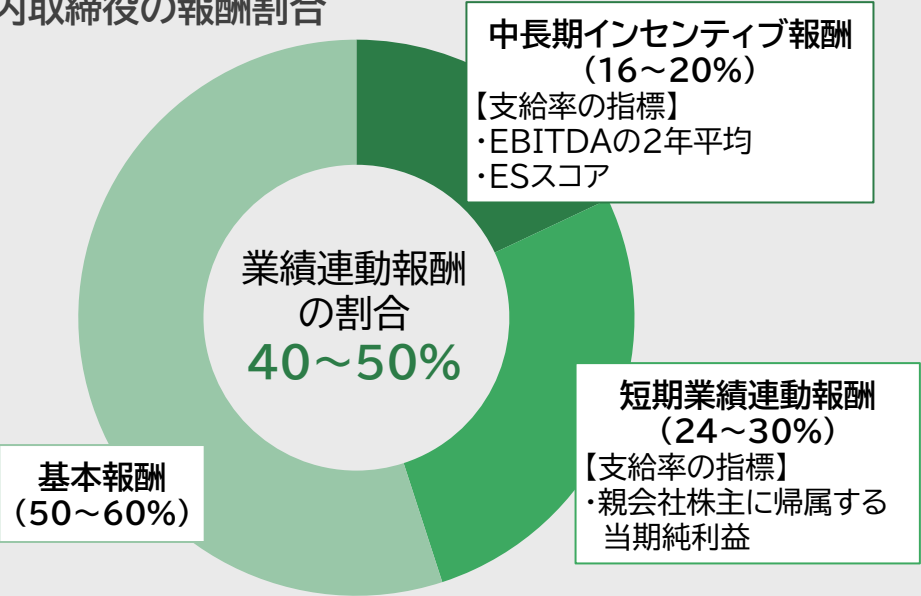
ガバナンス強化施策のあゆみ

2012年	●執行役員制度導入
2014年	●社外取締役の選任(1名)
2015年	●社外取締役1名増員(計2名) ●人事諮問委員会・報酬委員会の設置
2016年	●社外取締役1名増員(計3名)
2018年	●社外取締役1名増員(計4名)
2019年	●女性取締役の選任(1名)
2020年	●人事諮問委員・報酬委員数の見直し (社内取締役2名、社外取締役3名)
2021年	●女性監査役の選任(1名)
2024年	●人事諮問委員会・報酬委員会の議長を 代表取締役社長から社外取締役に変更 ●社外取締役1名増員(計5名) ●女性監査役1名増員(計2名)
2025年	●監査等委員会設置会社へ移行 ●取締役会付議事項の経営会議への一部権限委譲 ●取締役報酬体系の見直し
2026年	●取締役会事務局の体制強化 ●取締役会会議システム変更による効率化

取締役会等の構成

	社外	社内	社外比率	女性比率
取締役会	議長 8人	5人	58.3%	25.0%
監査等委員会	3人	委員長 1人	75.0%	50.0%
人事諮問委員会 報酬委員会	議長 3人	2人	60.0%	—

社内取締役の報酬割合



2026年のIR／SR活動

(●:実績 ○:予定)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
決算発表		●			●			○			○	
決算説明会		●						○				
中期経営計画説明会						●						
統合レポート発行						●						
IR/SR面談		●	●		●	●		○	○		○	○

株主・投資家との対話状況(2025年12月期)

活動内容	実績	主な対応者
株主総会	1回	全ての取締役
決算説明会	2回	CEO、取締役
事業説明会	1回	CEO、取締役、執行役員
IR面談	126件	CEO、取締役、執行役員、IR担当部門
SR面談	8件	取締役、執行役員

対話の主なテーマ

- コミットメント型中期経営計画設定の背景
- 中華圏を中心とした需要動向
- データセンター向け光コネクタ需要の継続性
- ROE改善に向けた施策や取り組み状況
- AP社との事業提携による事業改善状況

- | | |
|----|-------------------|
| 01 | 業績の推移 |
| 02 | 事業別業績の推移 |
| 03 | 放電加工機受注台数・販売台数の推移 |
| 04 | 地域別売上高、主要な為替レート |
| 05 | 事業セグメントの構成 |
| 06 | 主な展示会への出展 |
| 07 | 当社Webサイトのご紹介 |
| 08 | 開示セグメントの一部変更 |

1. 業績の推移

(単位:百万円)	FY2025									
	Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-12	YoY
売上高	18,819	20.4%	19,160	6.7%	18,366	5.5%	24,226	6.9%	80,572	9.4%
売上総利益	6,607	46.3%	6,734	10.2%	6,649	11.2%	8,216	10.1%	28,207	17.2%
売上総利益率	35.1%	6.2pt	35.2%	1.2pt	36.2%	1.9pt	33.9%	1.0pt	35.0%	2.3pt
販管費	5,325	0.5%	5,866	8.9%	5,780	13.7%	7,010	15.5%	23,982	9.8%
営業利益	1,281	-	868	20.1%	868	-3.0%	1,206	-13.4%	4,224	89.4%
営業利益率	6.8%	-	4.5%	0.5pt	4.7%	-0.4pt	5.0%	-1.1pt	5.2%	2.2pt
経常利益	1,090	-	447	-73.5%	1,382	-	2,310	-2.8%	5,231	44.2%
当期純利益	946	-	142	-89.0%	1,081	-	2,344	-36.9%	4,514	9.7%
PBR	0.5倍	0.1	0.6倍	0.2	0.5倍	0.0	0.5倍	0.1		
ROE(年換算)	4.6%	7.1pt	2.6%	0.6pt	3.4%	2.7pt	5.2%	0.1pt		
EPS(累計)	18.7円	28.5円	21.5円	5.7円	42.8円	34.9円	89.1円	8.1円		
従業員数(単体)*	1,180	-0.3%	1,182	-0.8%	1,168	-1.8%	1,173	-0.6%		
従業員数(連結)*	3,266	-6.8%	3,294	-5.5%	3,281	-4.9%	3,272	-4.2%		
(単位:百万円)	FY2026									
	Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-6	YoY
売上高	21,624	14.9%	25,296	32.0%					46,921	23.5%
売上総利益	7,943	20.2%	9,672	43.6%					17,615	32.0%
売上総利益率	36.7%	1.6pt	38.2%	3.0pt					37.5%	2.4pt
販管費	6,164	15.8%	6,998	19.3%					13,163	17.6%
営業利益	1,778	38.8%	2,673	207.8%					4,452	107.0%
営業利益率	8.2%	1.4pt	10.6%	6.1pt					9.5%	3.8pt
経常利益	2,190	100.8%	3,342	647.1%					5,532	259.7%
当期純利益	1,957	106.8%	2,024	1322.0%					3,981	265.7%
PBR	0.7倍	0.1	1.0倍	0.4						
ROE(年換算)	8.6%	4.0pt	8.6%	5.9pt						
EPS(累計)	38.7円	20.0円	79.2円	57.7円						
従業員数(単体)*	1,171	-0.8%	1,177	-0.4%						
従業員数(連結)*	3,273	0.2%	3,285	-0.3%						

* 単体には子会社への出向者を含めておりません。

* 単体・連結ともに臨時雇用者は含めておりません。

2. 事業別業績の推移

(単位:百万円)		FY2025									
		Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-12	YoY
連 結	売上高	18,819	20.4%	19,160	6.7%	18,366	5.5%	24,226	6.9%	80,572	9.4%
	調整額	-707	-	-773	-	-778	-	-800	-	-3,060	-
	営業利益	1,281	-	868	20.1%	868	-3.0%	1,206	-13.4%	4,224	89.4%
	営業利益率	6.8%	-	4.5%	0.5pt	4.7%	-0.4pt	5.0%	-1.1pt	5.2%	2.2pt
工作機械事業	売上高	13,617	18.1%	14,458	7.1%	13,542	9.0%	17,528	23.3%	59,146	14.5%
	セグメント利益	1,569	-	1,504	34.3%	1,259	12.2%	1,348	7.5%	5,682	64.1%
	セグメント利益率	11.5%	-	10.4%	2.1pt	9.3%	0.3pt	7.7%	-1.1pt	9.6%	2.9pt
産業機械事業	売上高	2,355	18.1%	2,375	-2.6%	2,458	25.2%	2,541	-19.7%	9,730	1.8%
	セグメント利益	65	-48.1%	76	-55.1%	223	10.0%	154	-52.6%	518	-37.0%
	セグメント利益率	2.8%	-3.6pt	3.2%	-3.7pt	9.1%	-1.2pt	6.1%	-4.2pt	5.3%	-3.3pt
食品機械事業	売上高	1,535	78.8%	1,182	71.6%	1,321	-33.3%	2,912	-30.1%	6,952	-9.7%
	セグメント利益	314	-	39	-24.8%	167	-48.0%	460	-28.3%	981	1.2%
	セグメント利益率	20.5%	-	3.4%	-4.3pt	12.6%	-3.6pt	15.8%	0.4pt	14.1%	1.5pt
その他	売上高	1,312	4.6%	1,144	-14.4%	1,043	0.2%	1,243	11.4%	4,743	-0.1%
	セグメント利益	38	-	22	-17.7%	-2	-	44	-	102	-
	セグメント利益率	3.0%	-	1.9%	-0.1pt	-0.3%	-	3.6%	-	2.2%	-

(単位:百万円)		FY2026									
		Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-6	YoY
連 結	売上高	21,624	14.9%	25,296	32.0%					46,921	23.5%
	調整額	-825	-	-845	-					-1,671	-
	営業利益	1,778	38.8%	2,673	207.8%					4,452	107.0%
	営業利益率	8.2%	1.4pt	10.6%	6.1pt					9.5%	3.8pt
工作機械事業	売上高	16,670	22.4%	19,920	37.8%					36,591	30.3%
	セグメント利益	2,302	46.6%	3,193	112.3%					5,495	78.7%
	セグメント利益率	13.8%	2.3pt	16.0%	5.6pt					15.0%	4.1pt
産業機械事業	売上高	2,384	1.2%	2,833	19.3%					5,217	10.3%
	セグメント利益	78	19.0%	243	220.1%					321	126.8%
	セグメント利益率	3.3%	0.5pt	8.6%	5.4pt					6.2%	3.2pt
食品機械事業	売上高	1,306	-14.9%	1,375	16.3%					2,681	-1.3%
	セグメント利益	206	-34.5%	86	117.9%					293	-17.3%
	セグメント利益率	15.8%	-4.7pt	6.3%	2.9pt					10.9%	-2.1pt
その他	売上高	1,264	-3.7%	1,166	2.0%					2,430	-1.0%
	セグメント利益	17	-55.6%	-3	-					13	-78.1%
	セグメント利益率	1.4%	-1.6pt	-0.3%	-					0.5%	-1.9pt

3. 放電加工機受注台数・販売台数の推移

放電加工機受注台数推移

(単位:台)	FY2025									
	Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-12	YoY
日本	35	-16.7%	61	1.7%	53	-33.8%	58	-6.5%	207	-15.2%
北・南米	72	10.8%	71	18.3%	89	43.5%	70	-25.5%	302	7.5%
欧州	97	38.6%	65	4.8%	59	22.9%	85	25.0%	306	23.4%
中華圏	459	67.5%	579	19.1%	440	36.6%	591	119.7%	2,069	53.1%
アジア	76	76.7%	59	-43.8%	64	-24.7%	92	41.5%	291	-2.3%
合計	739	49.6%	835	8.0%	705	18.1%	896	60.6%	3,175	31.1%

(単位:台)	FY2026									
	Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-6	YoY
日本	40	14.3%	60	-1.6%					100	4.2%
北・南米	63	-12.5%	84	18.3%					147	2.8%
欧州	61	-37.1%	63	-3.1%					124	-23.5%
中華圏	818	78.2%	646	11.6%					1,464	41.0%
アジア	90	18.4%	108	83.1%					198	46.7%
合計	1,072	45.1%	961	15.1%					2,033	29.2%

放電加工機販売台数推移

FY2025									
Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-12	YoY
51	-22.7%	29	-31.0%	43	0.0%	80	-27.9%	203	-22.5%
68	-8.1%	71	-2.7%	69	19.0%	83	7.8%	291	3.2%
73	-2.7%	68	30.8%	64	-1.5%	59	-4.8%	264	3.9%
370	52.9%	527	14.1%	402	22.6%	456	38.2%	1,755	28.9%
72	33.3%	56	14.3%	82	-21.2%	77	-4.9%	287	-0.3%
634	24.1%	751	10.8%	660	10.4%	755	14.2%	2,800	14.4%

FY2026									
Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-6	YoY
50	-2.0%	39	34.5%					89	11.3%
69	1.5%	75	5.6%					144	3.6%
73	0.0%	84	23.5%					157	11.3%
429	15.9%	605	14.8%					1,034	15.3%
84	16.7%	97	73.2%					181	41.4%
705	11.2%	900	19.8%					1,605	15.9%

4. 地域別売上高、主要な為替レート

(単位:百万円)		FY2025									
		Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-12	YoY
地域別 売上高	日本	5,996	20.3%	5,023	0.6%	4,829	-9.7%	7,309	-9.3%	23,157	-1.0%
	北・南米	3,057	6.6%	3,058	2.6%	3,015	16.3%	3,862	15.9%	12,994	10.4%
	欧州	1,645	-20.3%	1,672	14.4%	1,638	6.5%	2,364	64.7%	7,319	12.6%
	中華圏	5,858	50.8%	7,193	4.2%	6,398	32.5%	7,705	30.3%	27,156	26.1%
	アジア	2,262	23.2%	2,212	36.4%	2,483	-20.0%	2,984	-23.9%	9,943	-5.2%
	売上高合計	18,819	20.4%	19,160	6.7%	18,366	5.5%	24,226	6.9%	80,572	9.4%

為替 レート	USD/JPY	期中平均	152.55	3.92安	148.40	3.96高	148.08	3.38高	149.61	2.08高
		期末日	149.52	1.89高	144.81	16.26高	148.88	6.15安	156.56	1.62高
	EUR/JPY	期中平均	160.55	0.78高	162.25	2.45高	165.69	1.13安	169.19	5.14安
		期末日	162.08	1.16高	169.66	2.67高	174.47	15.04安	184.33	19.41安
	CHN/JPY	期中平均	20.94	0.31安	20.45	0.59高	20.50	0.46高	20.79	0.22高
		期末日	20.59	0.24高	20.19	1.85高	20.88	0.42安	22.36	0.69安
	THB/JPY	期中平均	4.49	0.32安	4.43	0.22安	4.47	0.23安	4.56	0.26安
		期末日	4.40	0.24安	4.44	0.08安	4.62	0.21安	4.97	0.33安

(単位:百万円)		FY2026										為替の影響額	FY2026 予想
		Q1	YoY	Q2	YoY	Q3	YoY	Q4	YoY	1-6	YoY		
地域別 売上高	日本	5,931	-1.1%	5,059	0.7%					10,990	-0.3%	-	-
	北・南米	3,808	24.6%	4,021	31.5%					7,829	28.0%	+408	-
	欧州	2,602	58.2%	2,380	42.4%					4,982	50.2%	+495	-
	中華圏	6,686	14.1%	10,812	50.3%					17,498	34.1%	+1,721	-
	アジア	2,597	14.8%	3,021	36.6%					5,619	25.6%	+289	-
	売上高合計	21,624	14.9%	25,296	32.0%					46,921	23.5%	+2,913	97,000
為替 レート	USD/JPY	期中平均	156.96	4.41安	158.29	9.89安							156.00
		期末日	159.88	10.36安	162.39	17.58安							156.00
	EUR/JPY	期中平均	183.65	23.10安	184.55	22.30安							182.00
		期末日	183.41	21.33安	185.35	15.69安							182.00
	CHN/JPY	期中平均	22.65	1.71安	23.04	2.59安							23.20
		期末日	23.11	2.52安	23.87	3.68安							23.20
	THB/JPY	期中平均	4.97	0.48安	4.93	0.50安							4.90
		期末日	4.86	0.46安	4.88	0.44安							4.90

※期中平均レートは累計期間のレートの平均を記載しております。

5. 事業セグメントの構成

	主な製品			主な用途	販売市場	生産拠点
工作機械	形彫り放電加工機	ワイヤ放電加工機	細穴放電加工機	◆ 金型製造 ◆ 部品加工	◆ 自動車 ◆ IT ◆ スマートフォン ◆ 電気電子部品 ◆ 航空宇宙 ◆ 医療機器など	 加賀  タイ
	金属3Dプリンタ	マシニングセンタ	レーザー加工機			
産業機械	横型射出成形機	縦型射出成形機	軽金属射出成形機	◆ プラスチック製品及び その他難材料、特殊材料、 軽金属製品などの製造	◆ 自動車 ◆ IT ◆ スマートフォン ◆ 電気電子部品 ◆ 医療機器など	 加賀  タイ
	製麺機	無菌包装米飯製造装置	その他食品加工機			
食品機械		 ※製造ラインの一部		◆ チルド麺 ◆ 冷凍麺 ◆ ロングライフ麺 ◆ 無菌包装米飯 ◆ 製菓 ◆ 惣菜	◆ 大手食品メーカー ◆ 外食チェーン ◆ 冷凍食品メーカーなど	 加賀  廈門
その他	受託生産(コネクタ等)	セラミックス	LED照明	◆ 金型設計・製造 ◆ プラスチック成形品の生産 ◆ セラミックス製品及びLED 照明などの開発・製造・販売		 宮崎  加賀
						

6. 主な展示会への出展

SIMTOS 2026



【SIMTOS 2026 概要】

会 期：2026年4月13日～4月17日(5日間)

開催地：ソウル、韓国

来場者：約100,000人

当社出展機：ワイヤ放電加工機「AL600G」

形彫り放電加工機「AL40G」

マシニングセンタ「GS540L」

V-LINE射出成形機「GL30G2」

- 半導体製造装置関連部品向け加工ソリューションの実演を実施
- 自動化や工程短縮に寄与する新機能を組み合わせた提案により、生産性向上ニーズへの対応力を訴求
- 半導体関連分野をはじめとする成長市場向けに、当社の放電加工技術の優位性をアピール

ChinaPlas 2026



【ChinaPlas 2026 概要】

会 期：2026年4月21日～4月24日(4日間)

開催地：上海、中国

来場者：約350,000人

当社出展機：高付加価値製品用 高応答射出成形機

「LP20EH4」「GL30G2-LP」

- 「見えるIoT」と「高付加価値」をテーマに、高性能射出成形機による成形ソリューションを展示
- 電子機器分野向けに、サーキュラーエコノミーへの対応や小物精密ハイサイクル成形技術を提案
- 医療・ロボット・自動車分野などの成長市場に向け、高難易度樹脂の安定成形技術を訴求

FOOMA JAPAN 2026



【FOOMA JAPAN 2026 概要】

会 期：2026年6月2日～6月5日(4日間)

会 場：東京ビッグサイト

来場者：約67,700人

当社出展機：連続式真空冷却装置

食品向け水分率モニタ

自動泡洗浄機

- 「麺・米飯を原点に、食の未来へ —50年の技術が拓く、総合食品機械メーカーへの挑戦—」をテーマに総合食品機械メーカーへの進化と、新たな領域における取り組みを中心に紹介
- 製品の実演およびプレゼンテーションを毎時間実施
- 第5回FOOMAアワード2026にて「連続式真空冷却装置」が優秀賞を受賞

7.当社Webサイトのご紹介

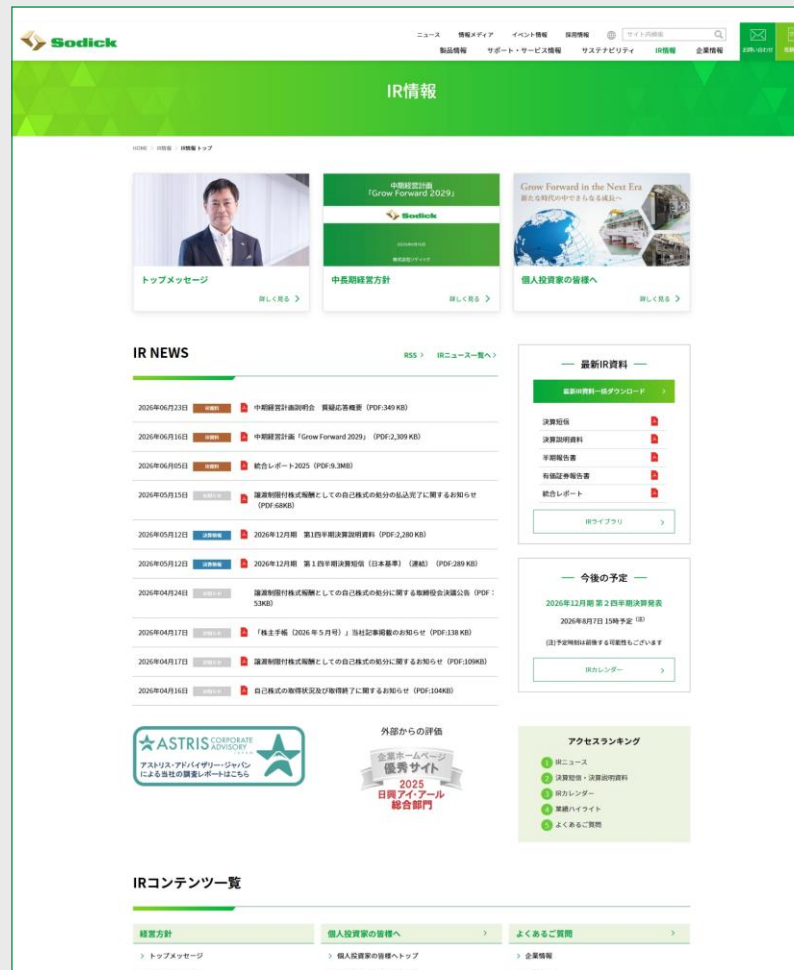
コーポレートサイト

<https://www.sodick.co.jp/>



IR情報サイト

<https://www.sodick.co.jp/ir/>



50周年特設サイト

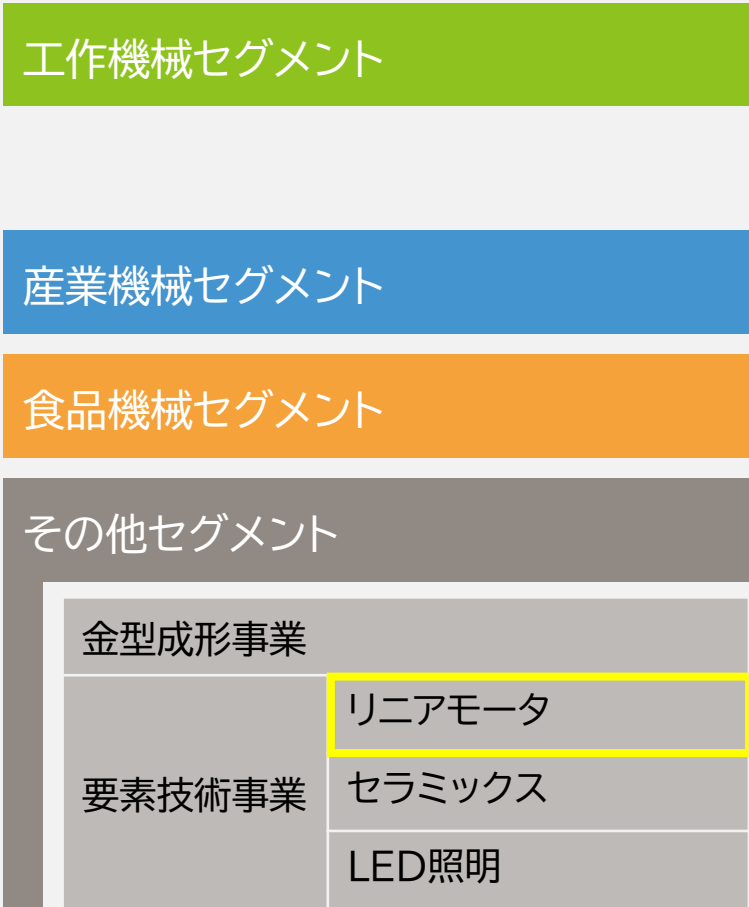
<https://50th.sodick.co.jp/>



8.開示セグメントの一部変更

リニアモータ事業は、工作機械セグメントの競争力強化に向けて、外部顧客向けのリソースを内製化に集中
また、工作機械セグメントとしての重要性が高まったことから、事業実態をより適切に財務諸表へ反映させるため、
2026年12月期から、決算発表における開示セグメントを以下の通り変更

旧開示セグメント



新開示セグメント



※ 産業機械、食品機械セグメントについては変更なし。

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 経営企画室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111 FAX:045-943-5835